



創立二十一年に向かつて

体制強化を

理事長 隅 一 清

今年の新年は、好天に恵まれ、穏やかな新春の幕開けとなりました。

平成二十五年度の事業計画も企画通りほぼ終了しました。幸い日本財団への福祉車両申請も受諾され、三月には新車が来ることになりました。新車は祖師谷や千歳船橋方面の利用者が低価格で利用できるためのキーステーションになるように、駐車場もその近辺を探しています。

当会も平成五年、ボランティア団体として移送事業を展開、平成十八年に法人資格を取得、来年は二十周年を迎えようとしています。

会の移送サービスを利用するためには、基本的に会に入会しなければなりません。法人タクシーや介護タクシーと異なる点は、会員になり、移送を利用することです。そのため、会員は毎年増え続けていますが、担い手は少なくなり、発足当時からの会員は高齢化してきています。会が今後、二十五年、三十年と活動していくためには、若くて元気な担い手をどうやって確保していくか！それが会の存続を決めるカギとなります。少し遅すぎた感も否めませんが、手をこまねいていても誰も助けてくれません。毎

月の行事の準備も、日々時間との闘いの配車コーディネート業務も限界に近くなってきました。チョットしたミスが重なって、移送が混乱してドライバーに迷惑をかけて、一件落着いても疲労感だけが残ります。

移送ドラ

イバーの人達が事務的な業務を助けてくれるとありがたいのですが、思うようにはいきません。駐車場の問題、特に会の事務所があるマンションは駐車がうるさく、当会の車の駐車は、いつも管理組合から



注意されています。移送の合間の待機時間もなるべく少なくなるようにコーディネートしているのですが、まとまった時間は少なく、落ちていて仕事をするのは難しいのが現状です。障害を持つ人でも、気軽に楽しく参加できるようにと、観光会社を通さずに、安くて企画に嵌らない旅を十五年間続けてきました。他の団体では、手間がかかるので年一回か二回にして、毎年同じところに行っているところもあります。毎回障害のある人を連れて下見に行きました。本番よりも下見の方が楽しいとかで、下見も車二、三台で行くことも毎回の会の旅行を楽しみにしている人が大勢います。新しい仲間も増えてきています。毎回の会の旅行を楽しみにしている人が大勢います。新しい仲間も増えてきています。これは続けていきたいと思いますが、今まで通りの実施は無理になってきました。様々な観点から、平成二十六年から会員や利用者だけで構成されていた当会の理事に外部から、他の団体役員の方や、学識経験者の方々と交えて運営していくことにしました。その辺りから現実には迫りつつある問題を少しずつでも解決できる方法が見つかるかもしれません。交代して頂く理事の皆様には引き続き会の運営にご協力頂けるように相談役の枠もありますので、ぜひよろしくお願ひします。



行事報告

秋の昭和記念公園散策

11月24日

秋の公園の目玉は、何と言つてもいちよう並木の黄葉です。正面入口から池をはさんで、両側に立ち並ぶいちよう並木は、十一月下旬から、十二月上旬まで、来園者を歓迎してくれます。入り口で園内を案内してくれるガイドボランティアの皆様と合流して、

四、五人ずつのグループに分かれて出発しました。ガイドボランティアさんはこの公園が大好きな人達とかで、細かいところまで説明してくれました。池の周辺では紅葉したもみじなども彩りを添えてきれいでした。今回は池の周りを半周して、再びバスに乗って高尾にある、うどん屋さんで昼食を食べて、八王子の道の駅に寄って帰りました。



参加者 二十八名

小田原早川のみかん狩り 12月7日(土)

昨年好評だったので、今回はマイクロバスを借りてのみかん狩りです。折から区のフェスタ展開催と重なって、忙しい合間をぬつての企画でした。今年は参加者のほとんどがみかん狩りに参加したので、アットという間に木は丸坊主になりました。昼食は真鶴半島でおいしい刺身御飯でした。

参加者 二十四名



「ふれあいフェスタ展参加」 12月3日～8日

今年も区民会館一階ホールで、障害者団体の作品展示が開かれました。不自由な体で、書道、絵画、あみもの、手作りの工芸品等が展示されて、大勢の人が見学に見えました。今年はある団体の手作りバッグが、展示中に盗難にあいました。来年度からの展示方法など、実行委員会で協議しています。良心がある人ならそつと返してほしいですね。



九十九里かんぼの宿旭で忘年会12月14日

都会を離れての忘年会も、今年で二回目です。かんぼの宿「旭」は、二年前の東北大震災の津波で三階まで波が押し寄せて被害にあいましたが、昨年春再オープンしました。

二年前に前庭にあつた教棟のログハウスは跡形もなくなっていました。連協の杉田会長達が手作りのお餅を作つて歓迎してくれました。美味しい料理を楽しんで帰路に着きました。

参加者 二十九名



新

春

新年の食事会

於 華空間 1月18日(土)

今年の最初の行事は恒例の新年会で幕開けです。今回は、都合で理事会を開かなかつたので十二時に、皆さんが集まり、員見副理事長の乾杯の音頭で開宴しました。

一週間かけて、行事写真も用意できたので、今年も皆様に手渡しました。四月の秩父芝桜見学から、十一月いちよう並木の黄葉が素晴らしかった国営昭和記念公園の写真等を入れて・・・平成二十六年度から、会の組織を少し変えるので、ご協力をお願いした望月明夫さんも快く顔を見せて頂き、ご挨拶代わりにハーモニカの演奏などをしてくださいました。

彼は元来学校の先生で、現在施設の移送業務を手伝いながら、介護タクシーとして、区に登録もしています。当会の移送のお手伝いもして頂いております。宜しくお願いします。

参加者 三十名



『自立支援功労者』賞を受けて

加藤 衛

この度は思いがけぬ表彰を受けて、少々戸惑っております。

私は、ほぼ会の設立当初からミニデイケアの一つとして書道教室を担当し今日に至っております。

定年後の一つの生き方として、大好きな野鳥関係と全く未知の世界であった障害者関係に関わってみようと決めていました。

障害をお持ちの方々、ご高齢の方々を対象とする教室は初めてでしたので、さぞかし、皆様に無理を強いたりして、不快な思いをされたことも多々あったのではないかと、今、ようやく反省しているところです。

書道教室は、わずか月3回だけのお付合いですから、なかなかお一人おひとりの心の内を知ることができません。そこで、歴史散策や誕生会、食事会、毎月のドライブなどにもできるだけ参加し、初体験の車椅子を押しながら、いろいろお喋りなどをして心の交流を図るよう努めてきました。

そのうち、教室でも、不自由な体を精一杯動かして書かれておられるその姿から、その心の内のほんの僅かでしょうが、推し量ることができるようになりました。そして、いくらかでも、個々の皆様に合う働きかけができて始めてきたところです。

このたびの表彰は、私にはなく、こんな私を支えて下さった過去から多くの教室の皆様、そして脇から支援して下さい下さる会の関係者の皆さまに差し上げるべきものと思っております。これからも、よろしくお願致します。



加藤先生、表彰おめでとうございます。決して怒らず、書道の他にも淡々と協力して下さい、心よりお礼申し上げます。

私も十七年間、書道のご指導を受け、書を通じてお人柄を知りました。生徒の個性を大事に、必ず誉めて下さり、やる気を出させて下さいます。どうぞ今後共お元気でずーっとご指導下さりますよう、書道部一同に成り代わり、お願い致します。 亀井 歌子

加藤先生、功労者表彰を心よりお祝い申し上げます。もっと早くとも思っていました。私は丸3年教えて頂いてから、こんなに奥が深いとは思っていませんでした。月3回の金曜日の度、悪戦苦闘で祈るような思いで書いていますが、70の手習は本当に難しい！なのに先生は横の棒が良い、縦の線が良く書けたと慰めて下さり、心の中で私（ほめぐろし）なんてつぶやいています。先生は家に帰られてから、さぞお口が疲れることでしょう。

20年も続かれたのも、先生のバツグンの人柄の良さと思っております。今後共お元気で少しでも字が上手に書けますよう、よろしくご指導下さい。加藤先生心よりおめでとうございます。 鈴木 季子

功労者表彰おめでとうございます。右半身不随の私に先生はゆっくり丸めて力を抜いて、真つすぐと云い直してくれました。その時は無心になれます。痛いと思病をこぼすのに、先生は無理せず楽しんでとはげましてくれます。ありがとうございます。これからも御指導よろしくお願申し上げます。 高橋 千恵子

ひまわり句会／菅野孝夫選

冬日うけ風力発電三十基 亀井 歌子

時雨るるや銀山温泉くじら餅 番犬の固まってゐる寒の入

冬うららゆの渡しもんじや焼 堀之内千代

飾売る渋谷駅前交差点 海ホタル波おたやかに雪の富士

余部の橋横さまに吹雪きけり 矢我崎和子

波の花吹き千切れ飛ぶ能登の時化 山脈の凍てて駅前広場かな

冬空に糸引く光流れ星 我孫子一江

ゆつくりと除夜の鐘聞く一人酒 寒空に街を見守る時の鐘

猫の目をあそばせてゐる冬の蠅 太田 和子

足踏みをして待つ浜の初日の出 食間の菓の残る年の暮

十日戎鳥帽子つけたる福娘 大谷のり子

冬木立空の青さに立ち向ふ 犬の耳片方うごく虎落笛

新雪や足跡つけて一歩づつ 小田原郁代

鹿の湯の硫黄の香なり去年今年 御神木注連を飾りて八百年



行事予定

特別企画！

懐かしのカントリー&ウエスタン！

大野義夫コンサート

昔懐かしい音楽を皆で楽しもうと企画しました。ローハイド、テネシーワルツ、ラブミーテンダー等バンジョーを奏でて、ヨーデルからカントリー・ウエスタンまで幅広く活躍中！ トークと演奏をお楽しみ下さい。

○日時 三月二十三日(日)

十二時～三時半迄

○会場 柿の木坂華空間二F

○会費 一人二千円(昼食代)

皆さんで昼のランチを頂いてから、一時三十分位から、唄と踊りを楽しむ予定です。

ホームページについて

会のホームページについて先般の理事会で、旧態依然としていて新鮮味がないとか、経費をかけるならそれなりのものにするように言われ、現在更新していません。理事長責任で今後は毎月更新内容をチェックするようにするため現在ホームページ製作会社と打ち合わせ中です。

最初から、私はパソコンはやらないので、画面を開いて見ることもなく、他人任せでした。三月中には新しいホームページを立ち上げたいと考えています。しばらくお待ち下さい。

各教室の案内

◎書道教室 13時30分～15時30分

3月 7日(金) 28日(金) 21日はなし

4月 4日(金) 18日(金) 25日(金)

◎俳句に親しむ会 13時30分、16時

3月 14日(金)

4月 11日(金)

*会場は世田谷ボランティアセンターですが、変更の場合は参加者にご連絡します。

理事会開催のお知らせ

平成二十五年度も三月で終了します。

二十六年度に向けての予算作り、新しい事業計画などを協議したいと思えます。

六月から新しく参加頂く理事の方々にも出席して頂く予定です。

○日時 三月十五日(土) 13時、15時

○場所 世田谷ボランティアセンター

○議題 二十五年事業、移送、会計

報告他

*三時から新しい理事の紹介があります。

編集後記

私のテーブルの前には、いつも書類が山積みされています。ひまわり通信も一週間たつてもまとまらずに置いてあります。昔は一日～二日できました。左には行事予定のファイルで、二月、三月の行事、理事会の資料、連協関係の資料、平成二十五年の総会資料、二十六年度の行事予定、予算案等も準備してあります。カレンダーは三カ月先まで予定を記入してあります。俳句、書道、理事会の会場予約も月初めに予約しないと取れません。

二月も連協の集まりが二回、運営協議会の集まりが一回、その他病院の定期検査、確定申告等もあります。中でも何が大変といっても、朝七時頃から夜八時頃まで、利用者の方から入る予約、変更、キャンセル、相談等の電話です。事務所内には、ヒューマンハーバー専用の電話の他に、写真関係業務の電話、クリーニング店用電話、それに私の携帯電話があります。受ける人間は一人です。

忙しいのは良いことで、元気の源なんて生易しいことではなく、最近は限界に近づいています。誰か助けてーッ S記

出演者 プロフィール

大野義夫



1931年東京杉並区生まれ 法政大学入学
六大学カントリー音楽リーグ戦、米軍キャンプ！
1956年3月「堀威夫&スイング・ウエスト」結成
1958年第1回よりウエスタンカーニバル出演
1959年5弦バンジョー世界武者修行出発！
1960年世界カントリー登竜門、東洋人初出演
独学で学んだヨーデル出大喝采
1988年ナッシュビル市長より名誉市民授与
バンジョー抱え精力的に世界で活躍
現在カントリーメイツ率い62年幅ひろく活躍中

「ひまわり通信」71号 2014年2月16日発行

編集 集 特定非営利活動法人

ヒューマンハーバー世田谷

編集責任者 隅 一 清

住所 世田谷区野沢3-4-18 102

TEL 03-3487-5081

FAX 03-3422-9281

発行人 障害者団体定期刊行物協会

世田谷区砦6-26-21 (定価100円)